SHOWA 昭和 GAKUIN

昭和学院 広報
第18号
2015.3.5（木）

昭和学院中学校・高等学校
〒272-0823 市川市東菅野2-17-1　TEL 047-323-4171-5
http//www:showa-gkn.ed.jp/js　FAX 047-326-5310

沖縄校外教育　～自然と歴史にふれる旅～

▲ 首里城での男子生徒たち

今年で五回目となる高校二年生の沖縄校外教育が二月中旬に実施された。校外教育の目的は，沖縄の歴史や伝統・文化そして自然に触れ様々な体験を通して学びを深めることにある。この中には戦争の記憶を風化させることがないように，沖縄戦を通して平和について考えることも含まれている。第１班は２月９日～１２日，第２班は１０日～１３日の３泊４日の日程で行われた。

１日目は朝７時２０分に羽田空港の第２ターミナルへ集合し生徒たちはみんな元気な様子で集合し無事に出発することが出来た。

第　１　日　目

那覇空港到着後は４日間お世話になるバスガイドさんと運転手さんとの挨拶を終え，移動の途中で沖縄都ホテルにて昼食を取った後『おきなわワールド』へ向かった。ここでは沖縄の歴史や文化・自然をまるごと体感することができ，３０万年の年月が創りあげた大自然の彫刻博物館とも言われている天然記念物の玉泉洞（鍾乳洞）を見学したり，躍動感あふれる勇壮な伝統芸能として沖縄地方で踊られているエイサーショーを見たり体験したりで生徒たちは皆沖縄の魅力を知ることができたことと思う。

この日は宿泊先として古都・首里の丘の上に建つ気品と伝統のある「ホテル日航那覇グランドキャッスル」に一泊した。夜には平和学習の一貫として，第二次世界大戦の沖縄戦を経験したという方の平和講話を生徒全員が２階守礼の間で聞いた。人間が人間でなくなり恐怖と死が目の前にある体験談は生徒全員の胸に深く残ったはずである。

▲ おきなわワールド

▲ 古謝先生による平和講和

沖縄校外教育

第２日目

▲ 沖縄県平和記念資料館

沖縄二日目は朝６時に起床して朝食バイキングをすませたあと，ホテルを８時に出発し午後までを平和学習と位置づけ，糸数壕・轟の壕・山城本部壕・マヤーガマ＝摩文仁の丘・沖縄県平和記念資料館＝ひめゆりの塔・ひめゆり平和記念資料館などを見学した。摩文仁の丘は県営平和記念公園内に位置し，公園内は平和ゾーン・霊域ゾーン・平和式典ゾーン・園路広場ゾーンの４つのゾーンからなっている広大な公園であった。

午後２時半からはホテルへの帰路を利用して各クラス別々の行動を計画し，様々な見学地(万座毛や道の駅かでな，など)や体験（エイサー体験，シーサー作り，サトウキビの収穫体験）などを通してここでもまた生徒たちは沖縄の新しい発見をしたことと思う。

この二日目からの二泊はリザンシーパークホテルへの宿泊となった。本島の西海岸で沖縄海岸国定公園内，恩納村谷茶に位置し，隣接する天然のロングビーチがあるリゾートホテルである。ホテル内では制服での移動が禁じられており生徒はみんな私服で部屋を出なくてはならないというリゾート雰囲気満点のホテルでもあった。

第３日目

三日目の半日が沖縄の大自然の迫力を肌で感じるプログラムが用意され，東村での自然体験として「シーカヤック体験＆プロジェクト・アドベンチャー」を満喫した。カヌーでは生徒全員びしょ濡れになりながらもガイドさんの誘導と共に楽しそうにこぐ姿が印象的であった。残りの半日は沖縄海洋博公園に移動し，公園内にある沖縄美ら海水族館を見学した。ここでは世界一の飼育・展示内容を目指すと言われており，大水槽には巨大なジンベイザメがゆうゆうと泳ぎ回り，その大迫力を目の前にしていた生徒たちは少々興奮気味な様子であった。

▲ 平良湾でのカヌー体験

第４日目

最終日の四日目は８時にホテルを出発し，琉球王国の栄華を物語るといわれ，２０００年には世界文化遺産として登録された有名な首里城公園を散策，ここは琉球王国の頃に政治外交，文化の中心地として威容を誇ったとされており，中国と日本の築城文化を融合した文化的・歴史的価値がある城とされている。また，那覇市内の国際大通りでは班別自主研修が実施され各班で散策をしながら昼食を自由にとるなど，またお土産を買ったりと最後まで沖縄を満喫して充実した四日間を過ごすことができたことと思う。

▲ 国際通り

百人一首大会

▲ 見つけた！

優　勝
1年3組、2年2組、3年1組

準優勝
1年2組、2年3組、3年3組

第3位
1年1組、2年1組、3年4組

第11回中学校百人一首大会が2月13日（金）6時間目に第３アリーナにて開催された。この日までに１枚でも多く覚えようと努力した生徒も多く、特に「ちはやぶる～」と読み上げられた途端、どのグループからも札を取る音が響き、大変盛り上がった楽しい会となった。後日、優勝のクラスには賞状と賞品、個人賞の生徒には賞品が渡された。結果は、次のようになった。

《個人賞》

《優秀賞》

1年	岩崎　雄亮	（3）
2年	糞島　里沙	（2）
	西江　瑠加也ワリペ	（2）
3年	大塚　脩平	（1）
	木田　優菜	（3）

《優良賞》

1年	秋元　美空	（1）
	中村　鈴花	（2）
	林　音羽	（3）
	宮田　侑莉亜	（3）
2年	岸波　瑠花	（1）
	佐伯　藍	（3）
	平岡　恵理子	（3）
	勝谷　桃	（4）
3年	神谷　悠里	（1）
	佐藤　玲奈	（1）
	林　春花	（1）
	弓掛　玲奈	（1）
	佐々木　清夏	（3）

書き初め展

今年の千葉県小中高校書初め展の課題は、
中１「春待つ心」
中２「大自然の美」
中３「理想の世界」
高校「淑氣催黄鳥」
または「鶯に夢さまされし朝げかな」。地区審査の結果、高２鳥井優希さん、中３塚本あかりさんの２名が代表として１月２５日の中央席書会に臨んだ。また、校内書初め展では書星会賞と特選の作品を展示し、その中から校長賞として高２田賀奈那美さん、中３土屋亜胡さんの作品が選ばれた。若々しく元気のある作品が目立った。

▲ 自分の作品を手にする代表2名

▲ 席書にのぞむ生徒

▲ 会場にて

SHOWA GAKUIN

世界へ羽ばたく昭和学院

バスケットボール　赤穂さくら・ひまわり姉妹

高校３年　赤穂さくらさん
第17回　アジア競技大会
第22回　U-18　女子　アジア選手権大会
高校１年　赤穂ひまわりさん
第3 回　U-17　女子　世界選手権大会
第22回　U-18　女子　アジア選手権大会

姉のさくらさんが本校の中学校に入学したのは６年前。石川県から親元を離れてたった一人でバスケットボールをするためにきた。だが姉が千葉へ行ってしまっても、妹のひまわりさんは「全然寂しくなかった」。まして自分が姉の後を追って昭和学院でバスケットをやるとは夢にも思わない。その頃はバスケットが好きではなかったのだ。「バスケットは『何かさせておかないと危ない子』と判断した親に強制的に入れられた」と言うが、とてもそうは見えない。そんなひまわりさんが６年生のとき、姉の試合を見るチャンスがあった。圧倒された。自分たちの試合とはまるで比べ物にならない。バスケット本気モードにスイッチが入った。中学校入試に向けて猛勉強、姉と同じ昭和学院中学生になった。

中学時代は同じ試合に出たことはほとんどない。喧嘩もした。やがて高校へ進んださくらさんには、下級生としての仕事や役割が待っていた。つらいこともあったが、同級生の仲間と結束が強まったのもこの時期があったからこそと、振り返って言う。海外遠征中も早く仲間の所に戻りたかったくらいだ。また、姉妹がお互いの大切さを実感できたのもこの頃だ。自分のプレーを一番理解していたのは、実はさくらであり、ひまわりだったことに気がついた。

ひまわりさんが高校生になり同じコートに立てた今年、２人とも他の人にはない「やりやすさ」を実感した。また、プレータイプが違うからこそ学ぶものも多かった。

さくらさんは卒業し、実業団でバスケットを続ける。ハイレベルな世界に身を置けることが今から楽しみだそうだ。

今後の目標を聞いてみた。さくらさんは「東京オリンピック出場」。ひまわりさんは「卒業する時に結果を残す」。ここまで支えてくれた多くの人に対する感謝の気持ちをずっと口にしていた姉妹。人間としての成長も頼もしい限りだ。

水　泳　森下友紀　2014アジアパラ水泳競技大会

5歳のときに水泳を始めた。水（お風呂）が苦手で内気。明るく朗らかに話す今の森下さんからは、想像できない。水泳が今も続いている理由は、負けず嫌いなこと、記録が伸びるときの喜び、そして仲間が日本中に増えたことにあるという。障害者の大会参加を通して様々な人がいることを知り、その個性の豊かさは大きな刺激になった。進学先の大学にも知り合った先輩がいて、今からとても楽しみだという。今後の目標は「東京パラリンピック出場、そしてメダル獲得。」海外に行くと、障害者と健常者との壁を感じないが、日本はまだ不十分。「将来は福祉関係の仕事に就き、その壁をなくすことに力を尽くしたい。」とさわやかな笑顔で答えた。

わがクラス ～3の4～

▲ 笑顔が絶えない教室

僕たち３年４組の担任は「駄目なものは駄目、良いものは良い」と言う精神で指導して下さる牧野先生です。今年の３年４組は、良く言えば個性が非常に強いメンバーが揃いました。普段はまとまりに欠ける時もありますが、行事にはいつもクラス一丸となり、全力で取り組んで来ました。その結果、スポーツ大会の学級対抗リレーで優勝、校内合唱コンクールでも優勝することができ、学校行事で２冠を果たすことが出来ました。
また、日頃からの牧野先生の細かい指導もあり、清掃最優秀クラスにも常に選ばれて来ました。

～学級対抗リレーの思い出～

僕たちは、６月２日に行われたスポーツ大会の学級対抗リレーで優勝することが出来ました。優勝できたのは、クラスの皆がメガホン片手に全力で応援してくれ、リレーメンバー８人が１つになることが出来たからだと思います。ゴールした瞬間、皆で喜びを共感できたことがとても嬉しかったです。(学級対抗リレーアンカー:堀池武玄)

～合唱コンクールの思い出～

私たちは、１１月１１日行われた校内合唱コンクール（中学校）で優勝することが出来ました。始めは選曲の時点で意見がまとまらず、クラスがバラバラになってしまい、本当に大変な思いをしました。しかし、時間は掛かりましたがクラス全員で話し合い、皆の気持ちが１つになることが出来ました。それからは眠くてたまらなかった朝練や、放課後の練習を毎日全員で頑張りました。その結果、優勝という素晴らしい結果を得られたのだと思います。本番ではクラスが１つになり、私たちにとって最高の合唱が出来ました。本当に楽しいステージでした。（指揮者：髙橋妃央）

～これからの3年4組～

この１年間で、日常生活はもちろんですが、校外教育や文化祭、節分（クラス内豆まき）、百人一首大会などでも沢山の思い出を作ることが出来ました。高校生になってクラスがバラバラになっても、皆で沢山の思い出を作って行きたいと思っています。
（級長：神谷拓帆）

SHOWA GAKUIN

生徒会　耐寒スポーツ大会

毎年この時期恒例となっている中学高校耐寒スポーツ大会が、生徒会・生徒指導部・体育科合同主催のもと、高校１年生が２月９日（月）に、高校２年生が２月１９日（木）、中学生が２月１３日（金）に本校メインアリーナで開催された。この大会の趣旨である「寒さに負けず体を動かすとともに、クラスや学年の親睦を深めること。」を念頭に、中学生・高校生ともに競技に熱が入り、どのクラスも熱い声援がアリーナ中にこだました。種目は、中学高校共に昨年に引き続き「長縄跳び」になり、競技成績は次の通りである。

【中学校】	
優　勝	2年4組
準優勝	2年1組
第３位	3年4組

【高校1年】	
優　勝	1年F組
準優勝	1年I組
第３位	1年J組

千葉県ライトブルー少年賞・市川善行賞決まる

高校生の大木千広さん（３Ｊ）が今年度の千葉県ライトブルー少年賞に決まり、２月２日（月）に県庁で表彰式があり受賞記念の盾を受け取りました。この賞は、善意や親切心に基づく青少年の善行を顕彰し、その気運を全県に広めていこうとするもので、今年で41回目。受賞した大木さんは、社会福祉施設などへの慰問激励や各種の奉仕活動が認められたものです。

▲ライトブルー少年賞 大木さん

大木さんは、中学１年生からボランティア活動に意欲的に取り組み八幡学園の訪問や重度障害者グループ「あじさい会」のお手伝いをし、ドルチアのチャリティーにも参加しました。３年では部長として真間祭で活躍し、ボランティアの啓蒙に努め、あしなが募金でも街頭に立ち活動をしてきました。

また今年度の市川善行賞には杉浦悠斗君（３Ｇ）と福田圭佑君（２Ｌ）が決まりました。二人は施設等のボランティア活動に積極的に取り組み、周囲の人たちに大きな励みとなっています。

▲市川善行賞の杉浦君と福田君

平成26年度　奨学会役員新年懇親会

▲楽しいゲーム

平成２７年１月２４日（土）午後４時より、浦安のオリエンタルホテル東京ベイで新年恒例の奨学会役員新年懇親会が行われた。例年だと３学期の保護者会実施後、懇親会が行われるが、今年は１週間前倒しの形で開催された。

出席者は山本理事長を始め、井上中高校長並びに辻田副校長、教頭などの先生方、そして奨学会からは八田会長始め、参事や役員の方々で総勢４３名で会は始まった。

まず初めに八田奨学会会長のご挨拶では、最近中学・高校の運動部を中心にして、昭和学院全体が非常に盛り上がっている。この勢いを、奨学会の会員である我々がもっと後押しして行きましょうというお話があった。続いて山本理事長からのお話があり、その後の井上中高校長からは、来年度の高校入試では本校の教育方針を多くの中学校で理解していただき、お陰さまでかなりの応募増となった。また、中学入試では新しい入試改革が出願にどう影響が出るか未知数だったが、蓋を開けてみると高校と同じく応募増という喜ばしい結果となった。ただ、これに一喜一憂せず、本当の勝負は生徒が入学したあとの生徒指導・学習指導にかかっているということである。そういう意味では、教職員共々奨学会の皆様のご協力をお願いする旨のお話があった。そして、来賓挨拶として竹内晴海様からお話があり、松丸勝美様の御発声により乾杯が行われ、歓談に入った。どのテーブルも、和やかな雰囲気の中にもお子さまを通しての熱い教育論が展開し、有意義な時間を過ごしたようである。最後は毎年恒例のビンゴ大会が実施され、参列者の一喜一憂の歓声が会場にこだましていた。名残惜しい中にも、平山勝氏の中締めでお開きとなった。

▲八田会長挨拶

▲役員の皆さんと

高校バスケットボール部　ウィンターカップ　準優勝

去る１２月２３日～２８日に東京体育館にて第４５回全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会が行われた。

▲ 対桜花学園

連日、多くの方々が応援に駆けつけた。特に野球部を始め、青春をスポーツに捧げた同志が駆けつけ、野太い声援を送っていたのが印象に残った。野球部の仁義を感じた。準々決勝７２対６５（福岡大学付属若葉）、準決勝６０対３９（安城学園）と順調に駒を進め、決勝は、インターハイで敗れた宿敵桜花学園との再戦となった。試合の結果は、最終ピリオドで猛反撃を見せたものの僅かに及ばず、７２対６７とインターハイ・国体に続く準優勝となった。また、この大会を通して、優秀選手に赤穂さくらさん（３H）が、優秀コーチとして鈴木親光教諭が表彰された。選手、並びに監督・関係者の皆さんに心から拍手を送りたい。

▲ 準優勝したバスケットボール部

【Voice】　高校バスケットボール部　監督　鈴木　親光

本年度のウインターカップは東京体育館で開催され、校長先生をはじめ、たくさんの保護者や生徒の皆さん、そして諸先生方のご声援をいただきありがとうございました。心より御礼申し上げます。

１２月２４日から試合が始まりました。昨年の大会、準決勝で敗れた岐阜女子高校と３回戦で対戦し、ベスト８を決めました。準々決勝では福大若葉と対戦し、前半は昭和らしいリズムで試合を運ぶことができました。が、終盤にかけて自分たちのミスから追撃を許してしまいました。猛追を振り切り勝利を収めました。準決勝は安城学園高校と対戦し、序盤から昭和が主導権を握り、優位に試合を進めることができました。決勝は本年度、インターハイ、国体、今大会と３度目となる桜花学園との対戦で立ち上がりから部長の赤穂さくらを徹底的に潰され、思うように点数が取れずに苦しい試合展開となりました。終盤に選手たちが奮起して桜花学園を猛攻しました。会場に足運んでいただいた方々の声援が選手たちの背中を押したのだと思います。しかし、第４ピリオド開始時に１６点差あった点を、５点差まで追撃したところで試合終了のブザーが鳴りました。無情のタイムオーバーに思わず天を仰いでしまいました。

決勝で惜敗しましたが、懸命にコートを駆けた選手たちの健闘を讃えたいと思います。悔いがないといえば嘘になりますが、選手たちは持てる力を出し切りました。今年の悔しさは、後輩たちが引き継ぎます。後輩と一緒に先輩の無念を晴らしたいと思います。

春の全国選抜大会・都道府県対抗全国大会など

中学・高校バトン部

１２月１３日、千葉市幕張メッセイベントホールで行われた、第４２回バトントワーリング全国大会に中高ともに出場した。４年連続である。中学は、少ない人数ながら、難度の高い技を展開し、銀賞を受賞した。高校は、チームの中心メンバーが卒業した後、全員で力を合わせて踊りきり、同じく銀賞受賞となった。

▲ 高校バトン部全国大会での演技

高校新体操部

「第３０回全国高等学校新体操選抜大会」（３月２０日～２２日・広島グリーンアリーナ）塩屋恵美子監督は「昨年優勝しているので、納得の演技で二連覇を目指します」と力強く語った。

中学バスケットボール部女子

「東日本大震災復興支援・第２８回都道府県対抗ジュニアバスケットボール大会２０１５」（３月２８日～３０日・市川市塩浜体育館他）本校から、西江瑠加也ワリペさん（２の２）・山田楓さん（２の２）・池見碧衣さん（２の３）・ダリング杏那さん（１の３）が出場する。

高校ハンドボール男女

「第３８回全国ハンドボール選抜大会」（３月２４日～３０日）に、今年も男女共に出場する。女子の里見香代子監督は「一つでも多くの試合をし、一つでも多くの自信をつけたい」とその意気込みを語った。特に、赤石有里紗さん（２H）、西山亜美さん（１H）の動きに注目したい。

男子の池畑大監督は「一戦一戦全力で臨みます。全員で頑張ります」と闘志を見せた。

中学ソフトテニス部

「第２６回都道府県対抗全日本中学生大会」（３月２６～２８日三重県伊勢市営庭球場）「自分たちのベストを尽くして頑張ります。テーマは‘チャレンジ，です」と高原良江監督は抱負を語った。樫山亜美さん（２の１）、横山瑞季さん（２の１）、原大湖くん（１の２）、西山七海斗くん（１の３）が出場する。活躍を期待したい。

高校ソフトテニス部

「第４０回全日本高等学校女子選抜ソフトテニス大会」（３月２８日～３０日・愛知県名古屋市日本ガイシホール）高橋章典監督は、「関東大会では己に負けたので、自分たちの力が出せる大会としたいです」とその意気込みを述べた。

高３進路

主な合格大学一覧（2月18日現在）

四年制大学

青山学院大	1	洗足学園音大	1
学習院大	1	創価大	1
中央大	3	崇城大	1
法政大	8	大正大	3
明治大	1	大東文化大	7
立教大	1	高千穂大	5
駒澤大	18	宝塚大	1
専修大	5	拓殖大	7
東洋大	19	玉川大	6
日本大	18	千葉科学大	5
亜細亜大	7	千葉経済大	1
跡見学園女子大	4	千葉工業大	71
植草学園大	3	千葉商科大	10
江戸川大	2	中央学院大	4
大妻女子大	2	つくば国際大	1
桜美林大	1	鶴見大	1
学習院女子大	2	帝京大	8
神奈川工科大	1	帝京科学大	4
亀田医療大	1	帝京平成大	16
川村学園女子大	4	ﾃﾞｼﾞﾀﾙﾊﾘｳｯﾄﾞ大	2
神田外語大	2	桐蔭横浜大	6
京都橘大	2	東海大	4
共立女子大	5	東京医科大	1
敬愛大	4	東京家政大	1
工学院大	1	東京家政学院大	2
國學院大	5	東京経済大	1
国際武道大	4	東京工科大	3
国士舘大	16	東京工芸大	2
こども教育宝仙大	1	東京国際大	1
駒澤女子大	5	東京情報大	4
産業能率大	2	東京女子大	1
実践女子大	2	東京女子体育大	1
淑徳大	5	東京聖栄大	1
順天堂大	1	東京成徳大	1
城西大	3	東京造形大	1
城西国際大	8	東京電機大	3
湘南工科大	1	東京都市大	1
尚美学園大	1	東京農業大	6
昭和女子大	6	東京福祉大	3
昭和薬科大	1	東洋学園大	3
女子美術大	2	東邦大	6
駿河台大	1	獨協大	2
成蹊大	5	二松学舎大	3
聖心女子大	1	日本工業大	1
聖徳大	7	日本女子体育大	6
清泉女子大	6	日本体育大	1
日本薬科大	4		

人間総合科学大	1	目白大	9
フェリス女学院大	2	ヤマザキ学園大	2
文化学園大	1	山梨学院大	3
文教大学	7	立正大	1
文京学院大	3	龍谷大	2
武蔵大	8	流通経済大	6
武蔵野大	5	了徳寺大	5
明海大	7	麗澤大	3
明治学院大	7	和洋女子大	8

短期大学

昭和学院短大	15	帝京短大	2
青山学院女子短大	2	戸板女子短大	1
有明教育芸術短大	1	東京家政大学短大	1
大妻女子大短大部	2	東京交通短大	1
共立女子短大	2	東京成徳短大	2
実践女子大短大部	2	東京農業大短大	1
女子栄養大短大部	1	日本大学短大部	1
千葉経済大短大	1	立教女学院短大	1

合格者の横顔

合格者に①～⑤の質問をしました。　①クラス・文理の別・氏名　②現在までの合格大学　③努力したこと　④平均学習時間（平日・休日）　⑤後輩へのアドバイス

①３Ａ文系　小島悠生②明治大学、中央大学、法政大学、明治学院大学、成蹊大学、東洋大学、専修大学③限られた時間で、効率よく学習できるように努めた。④平日約3時間・休日約6時間⑤早めの準備をするとよいでしょう。高２の夏にやった成果は高３の春ごろに現れます。周りのペースに乱されず自分を信じて勉学に努めましょう。困った時は周りの人に相談するのがよいと思います。

①３Ｂ文系　竹内久樹　②学習院大学、明治学院大学、東洋大学、専修大学、日本大学、二松学舎大学③暗記科目は早い時期から取り組み、コツコツと続けた。英語は速読の練習と長文読解をたくさんやった。④平日３～４時間・休日８～10時間⑤どの科目も基礎を固めること（単語、文法、教科書の太字を覚える等）が一番大事なことだと思います。そこに時間をかけた後、応用問題に取り組むと効率良く進められます。地味な作業が一番大事です。諦めず頑張ってください。

新生徒会

平成２７年度の生徒会役員は昨年の生徒会選挙で選ばれた人たちが、校長先生から任命の下、昭和学院の繁栄を望み、新たな一歩を踏み出しました。

会長	小川隼大（2L）
副会長	谷口南海（2C）
	齋藤啄摩（1B）
書記	野田優果（2D）
	赤津紗来（1F）
会計	池田莉彩（2D）
	尾身菜月（1E）
会計監査	中村梓（2D）
	小林優花（1G）

１月１６日任命式があり、新生徒会が活動を開始しました。今年度の抱負を、生徒会長に聞きました、「今年の生徒会では、これまでの先輩方が積み重ねてきた努力を糧に、今まで以上の素晴らしい学校生活を営めるよう役員一同精進していきたいと思います。生徒会は皆さんの代表であると共に、皆さんの味方であるということを忘れないでください。皆さん一人一人の意見は、この学校をより良くするために必要不可欠なものです。皆さんと私たち生徒会の「絆」が深まれば深まるほど明るい学校生活が保証されます。ですから、生徒会全員が協力して後輩によいものを残せるようにしていきましょう。」